

# 根室海峡における海鳥調査報告 2007-2008年

福田 佳弘<sup>1</sup>・小林 万里<sup>2,3</sup>

1. 099-4335 斜里町ウトロ東429, 知床海鳥研究会 2. 099-2493 網走市八坂196, 東京農業大学生物産業学部 3. 093-0084 網走市向陽ヶ丘3-1-22, NPO法人北の海の動物センター

## Record of Sea Birds in Nemuro Strait, Eastern Hokkaido, 2007-2008

FUKUDA Yoshihiro<sup>1</sup> & KOBAYASHI Mari<sup>2,3</sup>

1. Shiretoko Sea birds Research Club, 429 Utoro-higashi, Shari, Hokkaido 099-4335, Japan. murrelet@d1.dion.ne.jp 2. Faculty of Bioindustry, Tokyo University of Agriculture, 196 Yasaka, Abashiri, Hokkaido 099-2493, Japan 3. Marine Wildlife Center of JAPAN, 3-1-22 Kouyogaoka, Abashiri, Hokkaido 093-0084, Japan

### はじめに

根室海峡は、知床半島と国後島に挟まれた幅25-45 kmの海域である。その水深は先端部で2,000 mを超える一方、半島基部の海峡は20 mと浅く、その中央部分は湾のように水深が急激に変化している。海底地形は多様で、様々な海洋生物の生息地となっている。

これまで、根室海峡での海鳥調査は海岸部の調査が主で、船を利用した沿岸の調査については佐藤ら(2008)がある程度と少ない。季節を通した生息状況調査は、これが初めてと考えられることから、その結果を報告する。

なお、本調査は、NPO法人北の海の動物センターの調査の一環として行った。

### 調査方法

調査は、2007年4月29日から2008年2月2日までの期間の18回である。

調査には尾田建設株式会社所有の観光船「はまなす」19tを使用し、もっとも視界の良い船首ブリッジ上のデッキの左舷から著者のうち福田が目視にて調査を行った。調査範囲は、峯浜沖から知床岬沖までの岸から約1.5 kmを基点として約13 kmから15 kmで折り返す山形の航路沿いである。なお、目視範囲は、船首から右舷に10度、左舷に90

度の範囲で、船から約200 m以内に出現した種類と数を記録した。調査船の速度は、時速約23 kmとした。なお、調査コースはA-Lの12区間に分けた(図)。出現した海鳥は100羽あるいは1,000羽を超える大きな群れも多かった。そのため、カウント方法は1羽から100羽の群れでは1羽ごとに数取り機(カウンター)などを用いて数え、100羽以

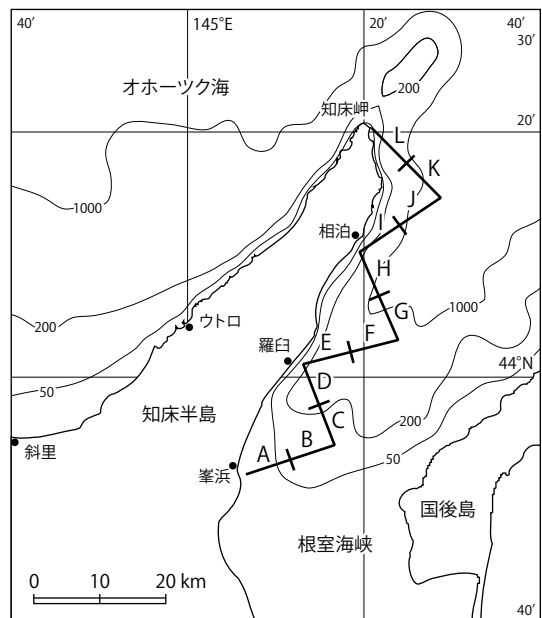


図. 調査区間.

上の群れについては100羽から1,000羽の群れのかたまりを数えて集計した。

## 調査結果

確認された種類は10科35種であり、付表に観察された種類と羽数を調査日ごとに示した。期間を通して観察された種はオオセグロカモメ1種のみで、冬期間を除く期間を通して観察された種はフルマカモメとウトウの2種であった。春期から夏期に観察された種はハシボソミズナギドリで、春期と秋期に数が増えた種はアカエリヒレアシシギであった。夏期から秋期に観察された種はトウゾクカモメで、秋期のみ観察された種はアカアシミズナギドリであった。その他の多くの種は不定期に出現した。

## 確認された種のリスト

### 1. オオハム sp. *Gavia* sp.

7月23日から9月20日の期間は観察されず、11月26日に61羽と最も多く観察された。オオハム *G. arctica* とシロエリオオハム *G. pacifica* は非常に識別が難しく、本報告ではオオハム sp. とした。

### 2. カイツブリ sp. *Podiceps* sp.

1月26日にD区間1羽、E区間2羽の合計3羽が観察されたのみであった。

アカエリカイツブリ *P. grisegena* かカンムリカイツブリ *P. cristatus* のいずれかの種と思われるが、両種とも警戒心が強く船が接近すると潜水や飛去した。したがって近距離からの識別ができなかったため、本報告ではカイツブリ sp. とした。

### 3. フルマカモメ *Fulmarus glacialis*

12月から2月の冬期間のみ観察されなかったが、他の期間には観察することができた。

6月22日の454羽が最高観察数であった。調査を行ったほぼ全区間に分布していた。知床周辺での繁殖記録はなく、主にベーリング海周辺からサハリン北部、北千島で繁殖している (del Hoyo et al. 1992)。田中・梶原 (1979) は知床半島東側では5海里以内に密度が高く、水深が100 m 等深線付近で

観察頻度も観察数も多いとしている。今回の調査においても同様の結果となった。

### 4. アカアシミズナギドリ *Puffinus carneipes*

9月1, 2, 20日に観察された。南太平洋のオーストラリアやニュージーランドなどの島で繁殖する (del Hoyo et al. 1992)。

### 5. ハイイロミズナギドリ *Puffinus griseus*

6月22日と10月23日に多く観察された。ハシボソミズナギドリに比較すると秋期にも多く出現した。南太平洋のオーストラリアやニュージーランドなどの島で繁殖する (小城 1982)。

### 6. ハシボソミズナギドリ *Puffinus tenuirostris*

4月29日から9月1日の期間で観察された。大群で出現するため正確な数を数えるのは困難であるが10万羽以上が出現していたと考えられる。繁殖地は、オーストラリアのタスマニア島周辺で (日本鳥学会 2000)、春期から初夏に日本の太平洋沿岸を北上する鳥のほとんどが、当年産まれの子鳥とされている (小城・田中 1984)。

### 7. ハイイロウミツバメ *Oceanodroma furcata*

6月22日から7月24日の期間に観察された。最大羽数は7月24日の18羽であった。北千島、アリューシャン列島で繁殖する (日本鳥学会 2000)。

### 8. コシジロウミツバメ *Oceanodroma leucorhoa*

7月23日にB区間1羽、F区間1羽と9月20日にB区間1羽、C区間1羽が観察された。

北海道東部の離島から千島、アリューシャン列島で繁殖する、知床半島近くでは道東の太平洋岸の大黒島などで繁殖している (日本鳥学会 2000)。

### 9. ウミウ *Phalacrocorax capillatus*

5月31日、7月23日、12月21日そして2月1日に1羽から2羽を観察した。知床半島全体で約1,000羽が繁殖している (福田 2005)。

### 10. ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus*

4月29, 30日と10月22日から2月2日の期間に1羽から7羽が観察された。知床半島周辺では繁殖しないが、年間を通して観察することができる。

11. チシマウガラス *Phalacrocorax urile*

南千島で少数が繁殖する(福田未発表)。2月2日にB区間2羽が観察されたのみであった。

12. クロガモ *Melanitta nigra*

5月30日に3羽と9月24日に24羽を観察した。

13. アカエリヒレアシシギ *Phalaropus lobatus*

繁殖期前の5月30日に205羽, 31日に121羽, 繁殖期の9月1日に67羽, 2日に10羽, 20日に40羽を観察した。

14. オオトウゾクカモメ *Stercorarius skua*

9月20日に1羽, 10月22日に2羽を観察した。

15. トウゾクカモメ *Stercorarius pomarinus*

6月22日から11月26日の期間に観察された。繁殖期後の9月1日から11月26日の期間に多く観察され, 最大羽数は9月1日の179羽であった。北極圏で繁殖する (del Hoyo et al. 1996)。

16. クロトウゾクカモメ *Stercorarius parasiticus*

9月20日に1羽観察したのみであった。カムチャツカ以北から北極圏などで繁殖する (del Hoyo et al. 1996)。

17. ユリカモメ *Larus ridibundus*

4月29日にB区間7羽, D区間2羽, I区間1羽の計11羽を観察した。サハリン, 沿海地域, カムチャツカで繁殖する (del Hoyo et al. 1996)。

18. セグロカモメ *Larus argentatus*

9月20日に2羽と10月23日から12月21日に各1羽を観察した。北極圏で繁殖し国内で越冬する (del Hoyo et al. 1996)。

19. オオセグロカモメ *Larus schistisagus*

知床半島では, 約3,000羽が繁殖する (福田2005)。1年を通して観察することができた。船つきになることが多く, 漁船に群がる個体については今回除外してカウントした。

20. ワシカモメ *Larus glaucescens*

1月26日に1羽が観察されたのみであった。カムチャツカからアリューシャン列島で繁殖し, 北千島から本州北部で越冬する (日本鳥学会2000)。

21. シロカモメ *Larus hyperboreus*

4月29日と, 11月23日から2月2日まで観察され, 知床半島を越冬地として利用していた。主に北極圏で繁殖する (Hoyo et al. 1996)。

22. カモメ *Larus canus*

10月22日から2月2日の越冬期に観察され, 最高羽数は12月22日の85羽であった。

北千島以北で繁殖し南千島以南で越冬する (del Hoyo et al. 1996)。

23. ウミネコ *Larus crassirostris*

5月31日から12月22日の期間に観察された。知床半島では, ウトロ側で約200羽が繁殖する (福田2005)。

24. ミツユビカモメ *Rissa tridactyla*

5月30日から6月23日, 9月1日から12月21日に観察された。最高羽数は10月23日の299羽であった。北千島以北で繁殖するが (del Hoyo et al. 1996), 知床半島や南千島での繁殖の記録はない。

25. アジサシ *Sterna hirundo*

6月22, 23日と9月1日から9月20日に観察した。ユーラシア大陸中部以北などで繁殖し東南アジアなどで越冬する (del Hoyo et al. 1996)。

26. ウミガラス *Uria aalge*

11月26日から2月2日までの冬期におもに観察された。最大羽数は12月22日の17羽であった。北千島以北, サハリン以北で繁殖し, 国内では道北

の天売島で少数繁殖する(日本鳥学会 2000)。

27. ハシブトウミガラス *Uria lomvia*

4月29日と11月26日から2月2日に観察された。最大羽数は2月2日の34羽であった。北千島以北、サハリン以北で繁殖し、国内では繁殖しない(del Hoyo et al. 1996)。

28. ケイマフリ *Cepphus carbo*

繁殖期終了後の9月2日に12羽が観察され、2月1、2日の厳冬期にも観察された。

知床半島では、ウトロ側で約150羽前後が生息している(福田2005)。

29. マダラウミスズメ *Brachyramphus marmoratus*

4月29日に知床岬に近い羅臼町側で飛び立ち海岸に沿って南側に飛行する1個体を観察、4月30日には峯浜沖で1羽、7月23日峯浜の沖約4kmで海上を泳ぐ2個体を確認した。2羽はフィッ・フィッ・と鳴きか交わしながら少し飛ぶと着水するというディスプレイ行動を繰り返し、その後標津方向へ飛行して消失した。

東アジアでは北海道、千島列島、サハリン、日本海沿岸のロシア沿海地方からカムチャツカ半島まで繁殖分布している(Konyukhov & Kitaysky 1995)。

30. ウミスズメ *Syntbliboramphus antiquus*

秋期から冬期にかけて主に観察され、最大羽数は12月22日の54羽であった。南千島以北からサハリン以北で繁殖し、国内では天売島で少数繁殖する(日本鳥学会 2000)。

31. エトロフウミスズメ *Aethia cristatella*

12月22日に1羽のみの観察であった。北千島以北とサハリン以北で繁殖する(日本鳥学会 2000)。

32. コウミスズメ *Aethia pusilla*

12月22日から2月2日に出現し、2月1日の142羽が最高羽数であった。羅臼沖を越冬地として利用していると考えられる。北極圏で繁殖する(日

本鳥学会 2000)。

33. ウミオウム *Cyclorhynchus psittacula*

11月26日に1羽が観察された。北千島以北とサハリン以北で繁殖する(日本鳥学会 2000)。

34. ウトウ *Cerorhinca monocerata*

12月22日から2月2日を除いた期間において観察された。帰巣するために魚をくわえた鳥も観察された。近くでは、国後島北西の弁天島と択捉島の萌消島に繁殖地がある(福田未発表)。

35. エトピリカ *Fratercula cirrhata*

6月22日にB区間1羽と11月26日にF区間1羽、I区間1羽の合計3羽が観察された。国後島北西の弁天島と択捉島の萌消島が近隣の大きな繁殖地である(福田未発表)。

### まとめ

本調査結果から、根室海峡が渡り途中の海鳥の通過海域と海鳥の越冬海域として利用されていることがわかった。また、ハシボソミズナギドリが10万羽を越す大群で通過することは、根室海峡に栄養補給に必要な生物資源が豊富であることを示している。

### 謝辞

調査のサポートおよびデータ入力をしていただいた東京農業大学生産産業学部アクアバイオ学科水産資源管理学研究室の学生の皆様と北の海の動物センターの皆様にお礼を申し上げます。

### 引用文献

- 福田佳弘. 2005. 知床半島における海鳥類の繁殖分布モニタリング調査1997-2004年. 知床博物館研究報告 26: 21-24.
- del Hoyo J., Elliot A. & Sargatal J. (eds.). 1992. Handbook of the birds of the world 1. 696 pp. Lynx Editions, Barcelona.
- del Hoyo J., Elliot A. & Sargatal J. (eds.). 1996. Handbook of the birds of the world 3. 821 pp. Lynx



付表. 続き.

|   | month/day | 4/29 | 4/30 | 5/30 | 5/31 | 6/22 | 6/23 | 7/23 | 7/24 | 9/1 | 9/2 | 9/20 | 10/22 | 10/23 | 11/26 | 12/21 | 12/22 | 2/1 | 2/2 |
|---|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
| カモ科                                       |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| クロガモ <i>Melanitta nigra</i>               |           |      |      | 3    |      |      |      |      |      |     |     | 24   |       |       |       |       |       |     |     |
| カモ科 ANATIDAE sp.                          |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     | 10   |       |       |       |       |       |     |     |
| シギ科                                       |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| アカエリヒレアシシギ <i>Phalaropus lobatus</i>      |           |      |      | 205  | 121  | 1    | 1    | 10   | 67   | 10  | 40  |      |       |       |       |       |       |     |     |
| ヒレアシシギ属 <i>Phalaropus</i> sp.             |           |      |      | 1    |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| トウゾクカモメ科                                  |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| オオトウゾクカモメ <i>Stercorarius skua</i>        |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     | 1   | 2    |       |       |       |       |       |     |     |
| トウゾクカモメ <i>Stercorarius pomarinus</i>     |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     | 10  | 8    | 12    | 25    |       |       |       |     |     |
| クロトウゾクカモメ <i>Stercorarius parasiticus</i> |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     | 1   |      |       |       |       |       |       |     |     |
| トウゾクカモメ属 <i>Stercorarius</i> sp.          |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     | 3    |       |       |       |       |       |     |     |
| カモメ科                                      |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| ユリカモメ <i>Larus ridibundus</i>             | 11        |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      | 1     |       |       |       |       |     |     |
| セグロカモメ <i>Larus argentatus</i>            |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     | 2   |      | 1     | 1     | 1     | 1     |       | 3   |     |
| オオセグロカモメ <i>Larus schistisagus</i>        | 48        | 4    | 41   | 34   | 43   | 15   | 23   | 42   | 105  | 95  | 97  | 47   | 63    | 93    | 80    | 71    | 49    | 48  |     |
| ワシカモメ <i>Larus glaucescens</i>            |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       | 1     |       |       |       |     |     |
| シロカモメ <i>Larus hyperboreus</i>            | 3         |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       | 1     | 24    | 9     | 2     | 10  |     |
| カモメ <i>Larus canus</i>                    |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       | 1     | 3     | 85    | 70    | 70  |     |
| ウミネコ <i>Larus crassirostris</i>           |           |      |      | 1    | 1    | 1    | 5    | 12   | 40   | 20  | 49  | 7    |       |       |       |       |       |     |     |
| ミツユビカモメ <i>Rissa tridactyla</i>           |           |      | 3    | 1    | 28   | 16   |      |      | 2    | 79  | 33  | 100  | 299   | 128   | 20    | 9     |       |     |     |
| アジサシ <i>Sterna birundo</i>                |           |      |      |      | 1    | 1    |      |      | 2    | 1   | 3   |      |       |       |       |       |       |     |     |
| カモメ属 <i>Larus</i> sp.                     |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     | 117 |
| ウミスズメ科                                    |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| ウミガラス <i>Uria aalge</i>                   |           |      | 2    |      | 1    | 1    |      |      |      |     |     |      |       | 3     | 3     | 17    | 9     | 1   |     |
| ハシブトウミガラス <i>Uria lomvia</i>              | 12        |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       | 10    | 1     | 18    | 19    | 34  |     |
| ケイマフリ <i>Cephus carbo</i>                 |           |      |      |      | 1    |      |      |      |      | 12  |     |      |       |       |       |       |       | 4   | 3   |
| マダラウミスズメ <i>Brachyramphus marmoratus</i>  | 1         | 1    |      |      |      |      | 2    |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| ウミスズメ <i>Synliboramphus antioquus</i>     | 1         | 1    |      |      |      |      |      |      | 6    | 4   |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| エトロウウミスズメ <i>Aethia cristatella</i>       | 1         | 1    |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      | 13    | 23    | 1     | 15    | 54    | 4   | 3   |
| コウミスズメ <i>Aethia pusilla</i>              |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       | 1     |     |     |
| ウミオウム <i>Cyclorhynchus psittacula</i>     |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| ウトウ <i>Cerorhinca monocerata</i>          | 603       | 49   | 396  | 365  | 153  | 34   | 236  | 15   | 34   | 8   | 145 | 40   | 155   | 17    | 1     |       |       |     |     |
| エトビリカ <i>Fratercula cirrhata</i>          |           |      |      |      | 1    |      |      |      |      |     |     |      |       |       | 2     |       |       |     |     |
| ウミスズメ属 <i>Uria</i> sp.                    |           |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |      |       |       |       |       |       |     |     |
| 種類数                                       |           | 11   | 7    | 8    | 9    | 16   | 11   | 12   | 8    | 11  | 13  | 13   | 13    | 9     | 19    | 11    | 11    | 11  | 10  |
| 調査区間                                      |           | A-L  | A-B  | A-L  | A-L  | A-L  | A-L  | A-L  | A-L  | A-L | A-L | A-J  | A-K   | A-H   | A-L   | A-G   | A-L   | A-H | A-L |

<sup>a</sup> オオハム *Gavia arctica* または シロエリ オオハム *G. pacifica*.

<sup>b</sup> アカエリ カイツブリ *Podiceps griseogen* または カンムリ カイツブリ *P. cristatus*.